

学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

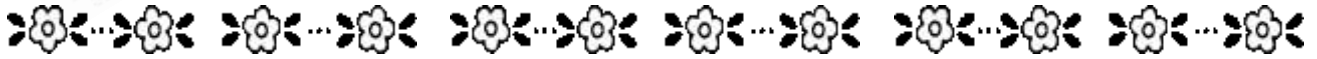
令和4年6月23日



三ツ境小だより 7月号

横浜市立三ツ境小学校

学校長 遠山 松雄



本格的な夏のシーズンを前に

校長 遠山 松雄

6月も後半を迎えました。今年は昨年より1週間早く梅雨入りをしました。2日続けて最高気温が20℃を下回る日がありましたが、今週は30℃前後まで気温が上がる蒸し暑い日が続いています。毎日天候を見ながら、「水泳の学習ができるか?」「熱中症が心配だ。」と日々心配の種が尽きない状況です。コロナ禍でのマスクの着用が新しい生活様式の中で広く定着をしましたが、命に係わる最悪の状況も想定し、国の方針である夏季における熱中症予防を感染症対策より優先し、登下校や休み時間等に外で走り回るようなときにはマスクを外すような指導を継続して行っていきます。保護者や地域の皆様にもご理解ご協力をいただきたくお願いいたします。

毎年この時期になると6月に行われた高校時代の文化祭のことを思い出します。今もそうですが、人前で話をしたりすることが苦手な性格でした。たまたま入部した合唱部の友人にその気にさせられて、彼が担当をしていた後夜祭の「のど自慢」に出たり、3年生のときには部活の友達数名と「日本の心を唄う会」を結成し、童謡・唱歌や昭和の流行歌を野外ステージで歌ったりした記憶がこの季節になると甦ります。こうした経験が教員になろうという気持ちを後押ししてくれたように思います。もし、この時の経験がなければ、今とはまったく違った道を歩んでいたかもしれません。人との出会いやちょっとしたきっかけが今の自分をつくり上げたと思います。あれから四十数年、コロナ禍で大人数で集まることはできませんが、今でもその当時の友人たちとの交流が続いています。これからもつながりを大切にしていきたいと思っています。

さて、5月末の三ツ境スポーツフェスティバルは、幸い天気にも恵まれ、無事に行うことができました。参観にいらした保護者の皆様、ありがとうございます。今年度もペアでの活動を大事にし、練習では、教え合い、学び合う場面を大切にしていきました。一人ひとりが力走した徒競走、ペア学年で活動をした競技や演技で、子ども達はそれぞれ力を出し切りました。また、久しぶりに復活した応援団による三色に分かれての応援合戦、ペア学年の子たちが協力して作ったお手製の応援グッズもスポーツフェスティバルを盛り上げました。今年も来賓の方にご遠慮いただいたり、保護者の参観を一名としたりするなど、やむを得ない形での実施となりましたが、ご協力いただきありがとうございます。

7月6日、7日には、6年生の日光修学旅行を予定しています。6年生は、修学旅行に向けての準備を進めています。昨年は何度も延期をしての実施、一昨年は日帰りで箱根に変更しての実施でしたが、3年ぶりに予定通り実施ができそうで安堵しています。今後も、感染症対策を継続しながら、できることを少しずつ増やしていけるように進めていきたいと思っています。

●●●三者面談のお知らせ●●●

期間：7月8日(金)～15日(金)

時間：6月15日に配付のプリントに記載

場所：各教室

※児童下校後はペンギン門・ネコ門とA棟昇降口を施錠します。パンダ門(正門)かイヌ・コアラ門を利用し、B棟昇降口から各教室へ移動をお願いします。

生活安全教室(低学年)

インターネット・スマホ教室(高学年)

低学年は日常生活の安全や非行防止を中心に、情報端末についても取り上げ、生活全般の意識を高めます。

中高学年は、情報端末の利用について、正しい知識を知り、トラブルを起こしたり巻き込まれたりしないために、機器の利用の仕方について考えます。

「セクシャル・ハラスメント」相談窓口

わいせつ行為やセクハラ防止のため、児童・保護者の相談窓口を設けています。お悩みのときには、ご相談ください。

<校内窓口>

児童支援専任 吉田 潤哉
養護教諭 太田明日華

<一般教育相談>

教育総合相談センター

624-9414

(↑番号が変更になりました)

七夕灯籠祭り

7月2日(土)、3日(日)

5年生や6組児童も関わった手作り灯籠が並びます。

灯籠展示点灯時間 18:30～21:00

2日(土)三ツ境駅前商店街～長屋門プロムナード

3日(日)アライ靴店前～長屋門プロムナード 及び

旭ヶ丘シルバー広場 他

専任 吉田より

マスク生活が続く中、熱中症の心配が大きくなってきました。学校では命に係わるリスクを考え、昨年度より引き続き、登下校や休み時間、体育等、暑い中で体を動かす場面ではマスクを外すように指導しています。暑い時、息苦しい時は、マスクを外すこと。マスクを外したら、友達との会話を控えること。子どもたちの心情を思い浮かべると、なかなか酷なことを強いていると感じています。しかし、子どもたちの命を守るために、学校生活の様子をよく観察しながら、声かけは引き続き行っていきたく思います。また、マスクを外すことに関しては、別の問題も想定されます。大人でもマスクを外すことに抵抗のある方がいらっしゃると思いますが、子どもも同様、またはそれ以上と考えています。感染症に対する不安もありますが、素顔を見せることへの心理的な抵抗も予想されます。「想定外」が起こらないよう、子どもたちの心情に寄り添い、柔軟に対応していきます。学校では、場面に応じてマスクを外すよう指導していきますが、ご家庭のお考えもあることと思います。心配な場合は、ぜひ、担任や専任までご相談ください。子ども同士で、マスクを外さない子への厳しい声かけが起こらないよう、学校全体で指導し、見守っていきます。

もうすぐ夏休み。三ツ境小の子どもたちみんなが気持ちよく夏休みを迎えられるよう、一人ひとりを支援していきます。ご家庭でのお声かけもよろしくお願いいたします。